

# 施設めぐり

児童センター

こどもの城

TEL 225-7289



中に入ると聞こえてくる、子供たちの元気な声。広いホールは、軟球でドッジボールを楽しむ小学生や、親と遊ぶ幼児でにぎわっています。また、工作室で手作りおもちゃ教室が行われたり、視聴覚室で映画上映会が行われたりします。

子供たちの一番人気は、プラネタリウムです。



半球形の白い天井の真下に、投影機が設置されています。プログラムは職員が考案し、説明で使うスライドなども手作り。物語形式で季節の星座を分かりやすく説明しています。また、天体ドームでは、大きな望遠鏡で月や惑星などを見て楽しめる天体観望会を行っています。

皆さんも広大な宇宙の世界へ出かけてみませんか。

## ともに生きる社会をめざして④

人権推進課・TEL 224-5579

このシリーズは、自立生活問題研究所長・谷口明広たぐちあきひろさんを招いて行った、人権問題講演会の要旨を人権推進課でまとめたものです。

差別を次の世代に伝えていけない、これが大切だと思います。「あそこの人たちとつきあっちゃいかん」とか、「あそこの人と話しちゃいかん」と親が言うから、受け継いでいくわけです。

「あの方は韓国の人だから、差別していい」と言うから差別が受け継がれる。どうして日本人が韓国の方と結婚するといったら、みんなは反対するのか。自分が、韓国人の親戚になるからいやなんでしょう。このような考え方が許されないのは、分かりますよね。これは、差別ですよ。

自分は自分、他人は他人、これもいけませんね。次の世代へ受け継いでいくマイナスなもの、我々は無くしていかないといいない。差別心を持っているのは、しかたがないことかもしれません。が、思っても口にしらないことが大切なのです。二十年計画、三十年計画で差別を無くしていか

なければなりません。

川越市教育長のお話でも、川越市は「子供のころからノーマライゼーションの教育をしています」とありました。すばらしいことですね。いまだに「障害者は、特別支援学校に行きなさい」と言っている専門家があります。障害のある子供の中には、特別支援学校にも通うことができない子もたくさんいます。川越に呼んでもらったから、ごまをすっているわけでは、ありませんよ。市立の特別支援学校がありますよね。これもいいことですよ。

全国へ行きますと、遠く離れた特別支援学校へみんなが通っているのです。私は、北海道へ研究に行っているのですが、北海道の事情は分かりませんが、すごいですよ。北海道で身体障害のある子供が生まれるでしょう。リハビリのできる大きな病院は、札幌市と旭川市しかないんですよ。

(つづく)



問い…「川越市納税呼びかけセンター」とは、どのようなことをしているのですか。

答え…市税などの納期が過ぎた方に、電話で納付の確認や呼びかけを行います。

同センターは、市の主な収入である市税などの収納率の向上につなげるため、昨年10月に開設しました。納付を忘れた方などが長期の未納とならないよう、電話で納付を呼びかけています。また、納付書再発行の受け付けや納付方法のご案内なども行っています。呼びかける対象税目は、市県民税・固定資産税・都市計画税・軽自動車税・国民健康保険税です。なお、市税などを特定の口座に振り込むようにお伝えすることはありません。振り込み詐欺に、ご注意ください。

問い合わせ…収税課滞納整理担当・TEL224-5691

親知らずを除く永久歯・28本のうち、20本以上自分の歯があれば、ほとんどの食べ物をかみ砕くことができるといわれています。市では、いつまでも楽しく食事ができるように、8020運動を進めています。みなさんは毎食後、歯を磨いていますか。

口の中で起こる代表的な病気である歯周病は、全身疾患とも深い

関係があります。歯周病菌が作り出す毒素が体内に入ると、糖尿病や脳血管疾患、妊婦の場合は早産や低体重児出産するなどの影響があるといわれています。歯や口を健康に保つことは、口の中だけではなく、全身の健康を守ることにもつながるのです。

さらに、歯や口の病気の多くは、ブラーク(歯ごこ)が原因で起こります。ブラークは歯にこびりつい

ているので、簡単には落とすことはできません。歯を磨くとき、自分で「磨いたつもり」でも、「磨けていない」ことがあるので、注意が必要です。磨き残しを少なくするため、かかりつけの歯科医院を持ち、自分にあつた口腔ケアを身に付けましょう。

また、年に一回は歯科健診を受け、口の中を手チェックすると、さらに効果的です。



川越市地球温暖化対策地域推進計画の重点プロジェクト⑤では、人にも地球にもやさしい交通「グリーン交通」を推進していきます。

市内の自動車保有台数は、年々増加しています。また川越市は、都心へアクセスできる鉄道3路線が乗り入れ、公共交通機関の利便性が高い都市です。同プロジェクトでは、通勤・通学時の公共交通機関の利用、クリーンエネルギー自動車の普及増進、エコドライブの実践を働きかけることで、運輸部門全体の二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の排出量の抑制につなげていきます。このプロジェクトによるCO<sub>2</sub>削減目標値は、平成24年までに約4,500tを見込んでいます。

市では、平成20年から全職員を対象にしたエコドライブ教習会を開催し、環境負荷の少ない運転技術の普及やエコドライバーを育成しています。エコドライブの手法のひとつである、アイドリングストップ。駐停車時にエンジンを止める方法は、自動車のエネルギー消費の抑制、CO<sub>2</sub>の排出量の削減、地球温暖化防止、大気汚染防止に効果的です。また、無用なアイドリングを止めることは、県条例でも義務付けられています。

問い合わせ…環境政策課・TEL224-5866

Report

消費生活レポート

172 「床下換気扇部品の前払い」と現金をだましとられた

事例

数年前に、訪問販売で床下換気扇の契約をした。先日、「工事をした業者は倒産しているが、そこに部品を卸ろしていた」という業者が来て、無料点検を勧められた。点検後、「部品を交換しなければ火事になる」「部品代をすぐ前払いしてほしい」と言われた。おかしいと思ったが、居直らねたら怖いので手持ちの二万円を支払った。工事予定日に待たせていても業者は現れず、領収書の連絡先は、存在しないことが分かった。

過去の契約名簿を入手した、あるいは床下換気扇が取り付けられているのを見た業者が、無料点検を口実に訪問したと考えられます。工事の部品代という名目で、手持ちの現金をだまし取る手口と思われれます。

消費者へのアドバイス

- ①業者の不安をおおる言葉をそのまま信じて、その場で契約や支払いをしないようにしましょう。
- ②心配なときは、すぐに生活情報センターへ相談してください。

消費生活相談

生活情報センター・市民相談室分室で行っています。詳しくは、毎月25日発行の広報川越・市民相談案内をご覧ください。

問い合わせ…生活情報センター(アトレ六階)

TEL226-7066

(相談専用・TEL226-7476)